

エピソード

A くんが水道から直接繋がって水が出ている水色のホースと同じ太さの青色のホースを繋げようとしてますが、繋がりません。すると、A くんは透明の太いホースを持って来て、水色のホースの先を透明のホースに差し込みました。ホースは繋がりますが、透明ホースの中の水が流れていきますが、水色のホースから出てくる水の勢いが強く、繋ぎ目から手を離すと、ホース同士は離れてしまいます。そこへ B くんがやってきて繋ぎ目を握りながら「洗濯バサミ持って来て!」と言うと、A くんは「オッケー!」と返事をして洗濯バサミをいくつか持って来ました。繋ぎ目に洗濯バサミを留めますが、挟む力が弱く、ホースから出てくる水の勢いでホースは抜けてしまいます。そこで A くんは近くにあったトイを持って来て2本のホースの下に置きました。B くんの様子を見ていた C くんも加わり、3人で2本のホースとトイをそれぞれ洗濯バサミで留めることで、ホースが安定し、水が流れるようになりました。しかし、ホース同士が離れていたため、C くんが「ここで水が分かれる」と、すべての水が透明ホースに流れていかないことに気付くと、A くんは青いホースを持って来て透明ホースの中に入れ始めました。3人はまた、繋ぎ目に洗濯バサミを留めたり、泥でふさごうとしたりしますが、水の勢いでうまくいきません。B くんが「ガムテープや!」と言い、3人で繋ぎ目にガムテープを貼り出しました。ホースから水は流れたままなので、ガムテープが濡れて貼ることができずにいると、C くんが「水弱くして」と言い、A くんが水道の栓を閉め、水の勢いは弱まりましたが、ガムテープはくっつかず、ホース同士を繋げることはできず、片付けの時間になりました。

～遊びの後の振り返りで～

B くんがどうすればホース同士を繋げられるかみんなに聞くと

- ・ホース(の直径)が「大きい」「小さい」だと入るから良い。同じ大きさでは繋がらない(水色と青色のホース)
- ・泥は?→泥も試したけど、水の方が強かったからダメだった
- ・糊、ボンド、別の遊びでつくっている洗濯糊のスライムをくっつける→他のみんなが使えなくなるんじゃないかと、気付いたことや考えたことを出し合っていました。

子どもの育ちや学び

洗濯バサミなら
留まりそう
(予想)

なるほど!
(納得)

ホースとホース
の間から漏れる
(新たな問題)

ホースを中
に入れてみよう
(ひらめき)

ガムテープ
でもダメだ
(失敗)

どうして
だろう?
(疑問)

- ・水の勢いでホースが抜けてしまうという問題に、洗濯バサミやトイを使い、繋げられる方法を考えて試す。(経験から適切な用具を選ぶ)
- ・水がすべて透明のホースに流れないという新たな問題に、ホースを通したり泥でふさごうとしたりする。(試行錯誤)
- ・思うようにいかないことに対し、「この方法はどうか」とアイデアを出したり、なぜできないか気付いたことを言葉にしたりすることで、友達と一緒に「うまくいくかもしれない」と感じ、諦めずに取り組む。(目的の共有)(協力)(友達の刺激)
- ・ホースから水が出ていることでうまくいかないと気づき、水を止めてホースを繋げようとする。(関連性の発見)

- ・振り返りで気づきや問題を伝え、どうすればいいか友達と考える。(話し合い)(問題の共有)
- ・友達との話し合いから、新たな考えや方法に気付く。(次への意欲)

保育者の思い

- ・水色のホースからはずっと水が流れていました。水の勢いでホースが抜けてしぶきがかかったり、水の重みでホースが扱いづらそうだったりして「水を止めたらいのに…」と思っていました。水の勢いに翻弄される子ども達でしたが、思うようにいかないからこそ「どうすればいいか」を考えて試す姿になったのかな、と思いました。
- ・ホース同士を繋げるために、洗濯バサミやトイ、泥、ガムテープなど、今までの遊びの中で使ってきたものや方法から「これならできるかも」ということを友達と一緒に考え、やってみるという繰り返しが試行錯誤につながっていくと感じました。
- ・振り返りで共有することで、答えを見つけるのではなく、3人の気づきを友達に知らせたり、3人が思いつかなかった新たな方法や考えに触れたりして次の経験に活かしてほしいと思いました。

家庭だったら

- ・大人が「こうすればいいのに…」と思えるのは経験や知識を積み重ねてきたからです。遊びの中で子ども達は考え、試すことで、経験や知識を積み重ねています。目的に向かうまでの回り道も楽しめると良いですね。